

## 乙訓福祉会の沿革

- 1978(昭和 53)年 「乙訓障害児者父母の会」の一部グループが中心になり、向日が丘養護学校卒業生の日中活動ができる拠点を確認するため、当時不用となりつつあったプレハブ校舎資材を転用し「共同作業所・乙訓の里」が向日市上植野町に開設。その後、用地の使用期限の関係で現在の法人本部敷地南側に移転。
- 1987(昭和 62)年 乙訓地域在住の重度障がい者が、地域で作業等をする活動拠点の必要性を認識し、行政関係者並びに「共同作業所・乙訓の里」関係者を中心に「乙訓地域重度心身障害者対策プロジェクトチーム」を発足。
- 1990(平成 2)年 「乙訓地域重度心身障害者対策プロジェクトチーム」がまとめた意見の具申を基に、「共同作業所・乙訓の里」が母体となった「社会福祉法人乙訓福祉会」を設立。 【初代理事長：故 鈴木正里】  
☆10月1日：2つの通所施設が開所  
身体障害者通所授産施設「乙訓の里」  
知的障害者通所更生施設「乙訓学園」
- 1991(平成 3)年 乙訓福祉会後援会が発足。(10月1日) 【初代会長：故・齋藤恪二】
- 1993(平成 5)年 宿泊体験を実施するなど日中活動の時間内には叶わない「経験の場」を設置する必要があるとして、通所施設の分場的な場である「コスモスの家」を長岡京市馬場に開設。ここでの取り組みが、後の福祉ホーム・ケアホーム開設への礎となる。
- 1999(平成 11)年 身体障害者福祉ホーム「ハイツ竹とんぼ」を長岡京市金ヶ原に開設。夜間も含めた生活全般の支援に携わるヘルパーの派遣などを実現。  
\*ヘルパーは開設から4年間、長岡京市の委託を受けた特定非営利活動法人「乙訓介護サービス」より派遣され、入居者の生活支援全般に亘りご尽力を頂く。  
また、本部用地の無償貸与期間が短縮されたのもこの時期である。
- 2000(平成 12)年 創立 10 周年記念行事「ワッシュイフェスタ」を開催。(10月)  
法人主催の初のシンポジウム「地域のまんなかで」を、10周年記念及び「乙訓障害者地域生活支援センター・キャンバス」の開設記念の行事として共同開催。(11月)
- 2001(平成 13)年 「知的障害者グループホーム事業説明会」を開催。(10月)  
2度目のシンポジウム「地域のまんなかで '01」開催。(11月)

- 2002(平成 14)年 知的障害者グループホーム「ハイツさくら」開設。(4月)  
「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」を設置。(7月)  
「地域のまんなかで '02」開催。(11月)
- 2003(平成 15)年 「支援費制度」の移行を機に、通所施設の名称を「乙訓の里」から  
「障害者地域活動センター乙訓の里」に、また「乙訓学園」を「障  
害者地域活動センター乙訓楽苑」に改称。一方、居宅事業では「ハ  
イツさくら」、「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」が、共に京都府よ  
り支援費事業該当事業所としての指定を受ける。(4月)  
乙訓介護サービスが担った「ハイツ竹とんぼ」利用者へのヘルパー派遣  
業務を、3月末より「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」が引継ぐこ  
ととなり、独り暮らしの方への生活支援や知的障がいのある方への移動  
介護などもスタートした。  
「乙訓福祉会ホームページ」を開設。  
「地域のまんなかで 2003」開催。(11月)  
土地問題検討委員会が発足。
- 2004(平成 16)年 知的障害者グループホーム「ハイツまんてん」が長岡京市奥海印寺に  
移転・開設。(4月)  
「チャリティー絵画展」を開催。チャールズ・チャン画伯来所。  
「乙訓福祉会 居宅介護従事者養成研修事業」を開講。  
本部用地無償貸与期間満了後の返還が決まる。
- 2005(平成 17)年 「地域のまんなかで・5」開催。(3月)  
乙訓福祉会本部移転に関する「公開報告会」を開催。(7月)  
創立 15 周年記念行事「ワッショイフェスタ 2005」を開催。(9月)
- 2006(平成 18)年 「地域のまんなかで・6」開催。(3月)  
障害者自立支援法の施行に伴い、「障害者地域活動センター乙訓の里」  
が生活介護事業所に。「ハイツさくら」、「ハイツまんてん」が経過的居  
宅介護利用型共同生活介護事業所に移行した。また「乙訓福祉会・ライ  
フサポート事業所居宅介護等運営部門」は、居宅介護・重度訪問介護・  
行動援護の指定を。「乙訓福祉会・ライフサポート事業所指定相談支援  
室運営部門」は、相談支援事業の指定をそれぞれ受ける。(10月)
- 2007(平成 19)年 「障害者地域活動センター乙訓楽苑」が生活介護事業所に移行する。  
「ハイツ竹とんぼ」が長岡京市地域生活支援事業の指定を受ける。  
「地域のまんなかで・7」開催。  
映画『ありがとうー「奈緒ちゃん」自立への 25 年』上映。(3月)

- 2008(平成 20)年 「地域のまんなかで・8」開催。(3月)  
「ふれあいコンサートの集い」《中国笛とテノールの歌声》開催。  
全盲の歌手：楊雪元氏来所。(5月)
- 2009(平成 21)年 「ハイツまんてん」長岡京市下海印寺に移転。(4月)  
「地域のまんなかで・9」開催。(7月)  
障害者ヘルプの充実を目指し、乙訓圏域自立支援協議会との共催で「ホームヘルパー養成研修二級課程講座」を開講。
- 2010(平成 22)年 「ハイツまんてん」の一階部分(女性専用フロア)を開所し、共同生活介護事業所の指定を受ける。(2月)  
将来構想検討委員会を設置。(4月)  
「乙訓福祉会創立20周年記念感謝祭」開催。(10月)
- 2011(平成 23)年 職員による将来構想整備計画プロジェクトチームを設置。(4月)  
創立記念行事『作品展』開催。法人利用者の創った日常の世界を「作品」として、一般に初めて公開する展示会を開催。(11月)
- 2012(平成 24)年 「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」の事務所及び相談支援室1期工事を行い、事務部門の一部を長岡京市今里に移す。(8月)  
将来構想整備計画プロジェクトチームの提言による『ふた葉プラン』を策定し、今後の移転計画を含めた事業の構想を示す。(9月)  
2012年4月より制度化された「介護職員等による喀痰吸引等」の実施に伴い、必要なケアを安全に提供する介護職員等を養成するため、乙訓圏域障害者自立支援協議会「医療的ケア委員会」や乙訓地域の関係機関とともに協力して「介護職員等への喀痰吸引等研修(第3号研修)」を開講。(10月)  
「乙訓福祉会・ライフサポート事業所」の2期工事を行い、車いす等多様な用途に対応できるトイレ及び障害児通所支援事業を実施するフロアの整備を行う。(3月)
- 2013(平成 25)年 4月から「障害者総合支援法」が施行される。  
乙訓福祉会・ライフサポート事業所今里事務所で相談支援室が本格的に始動。(4月)  
障害児通所支援事業「放課後等デイサービス事業所 ぱぐ」を今里事務所1階で開所。(6月)  
「障害者地域活動センター乙訓の里」の移転先用地を長岡京市下海印寺川向井に取得。年末より、造成工事に取り掛かる。  
乙訓楽苑移転に向けた事業検討(プロジェクト)会議始まる。(9月)
- 2014(平成 26)年 国庫補助金交付の内示を受け、建設に係る諸準備を進める。(8月)  
乙訓の里新築工事地鎮祭・起工式を開催。建設工事始まる。(9月)

2015(平成 27)年 「障害者地域活動センター乙訓の里」、「障害者地域活動センター乙訓楽苑」  
の名称を「乙訓の里」と「乙訓楽苑」にそれぞれ改める。(4月)  
「乙訓の里」新施設建設が完了、竣工式を開催。(5月)  
「乙訓の里」が新天地に利用者を迎え開所式に臨む。(6月)

